

## (有)飯田工業 環境行動計画

令和 2年 12月 10日

### 取組方針

#### 環境基本理念

(有)飯田工業は、建設・土木業者顧客のニーズにあったコンクリート二次製品を製造販売をしています。

当社の事業活動を進めていくうえで、環境保全を重要課題の一つとして認識します。地球環境との調和や地域社会との融和を図りながら事業活動していき健全な経済活動を目指しております。

環境保全を実施していくうえで、重点項目として以下の取り組みを社員一丸となり推進していきます。

- ①事業活動で省エネルギーと省資源による、地球温暖化防止に貢献
- ②製造部門・事務部門における廃棄物の削減
- ③5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）運動の徹底
- ④資源の有効利用の促進
- ⑤製品製造材料をリサイクル材料使用の拡大と促進

この取組方針に基づいて、社員教育と取組目標及び具体的な取組内容を周知徹底して事業活動を実践していきます。

令和 2年 12月 10日

有限会社 飯田工業  
代表取締役 飯田 伸一

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標一</p>	<p>二酸化炭素の総排出量を、2020年度を基準として2022年度内にトン当たり3%削減する(22.84kg-CO<sub>2</sub>/トン→22.15kg-CO<sub>2</sub>/トン)</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 昼休み消灯と人のいない部屋や区域の消灯をこまめにする。</li> <li>② 喫煙は指定の場所を設けて、換気扇、エアコンの消費電力をカットする。</li> <li>③ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。</li> <li>④ エコドライブの徹底をする。</li> <li>⑤ エアコンの使用時間を短くする。</li> <li>⑥ 従来型照明灯を高率照明灯又はLED照明に交換する。</li> </ul> <p>(工場での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ボイラー稼働時間の低減・設定温度の低減を実施。</li> <li>② 蒸気漏れの多い、簡易的なシート養生は減らして養生室を使用する。</li> <li>③ 養生用ボイラーの運転時間の調整をこまめにする。</li> <li>④ ボイラ稼働時間の低減を図るために燃料改質装置を設置し重油の使用量を削減する。</li> <li>⑤ 従来型フォークリフトを電気フォークリフトや低燃費フォークリフトに変える。</li> <li>⑥ 工場内の従来型照明灯を高率照明灯又はLED照明に交換する。</li> </ul>

<p>目標二</p>	<p>コピー用紙の使用量を、2020年度を基準として2022年度内に5%削減する。 (407 kg→387 kg)</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ミスプリントやコピーミスの無いように注意をする。</li> <li>② シュレッダーの使用は秘密文書に限る。</li> <li>③ 社内書類を両面で活用する。</li> <li>④ 提出書類の電子化を推進する。</li> </ul>

目標-3	産業廃棄物の排出量を、2020年度を基準として2022年度内に5%削減する。 (6.0トン→5.7トン)
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) ① 備品等はできるだけ長期間使う。 ② 不良品の発生を減らす。 ③ 成型型枠の管理や整備の徹底をする。 ④ 生産工程から発生する生コンのノロや洗浄カスの分別を。徹底し再利用する。

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、環境管理責任者が中心となり、全従業員が具体的な取り組みを実行します。

